

1) 概要

平成 24 年 7 月 11 日から 14 日まで断続的に降り続いた大雨は、九州北部各地に昭和 28 年西日本水害以来の未曾有の被害をもたらした。

柳川市では、4 日間に 415 ミリの降水量を記録した。特に、13 日から 14 日にかけては雨脚が強まり、13 日午前 7 時 10 分からの 24 時間降水量は 281 ミリに及んだ。それ以上に矢部川上流の八女市黒木町では、凄まじい豪雨となり、13 日午前 11 時 30 分からの 24 時間降水量は 486 ミリにも達した。

14 日には、未明から昼前に筑後地方に猛烈な雨が降り、矢部川水系一帯に降り注いだ豪雨は、矢部川及びその支流に流れ込み、急激に水位を上げた。

特に、矢部川上流域には記録的短時間大雨情報が発表され、八女市黒木や星野では河川が氾濫を起こし、甚大な被害が発生した。その大量の濁流がそのまま下流に流れ込み、本市では同日 9 時に沖端川中山の堤防が決壊（延長約 150 m）、そして 13 時 20 分に矢部川六合の堤防が決壊（延長約 50 m）した。その後も、両河川は長時間、高い水位の濁流が流れ続け、沖端川は同日 22 時過ぎまで、矢部川は 24 時頃まで警戒水位を下回らなかった。

これらの堤防決壊により、中山地区及び六合地区は大洪水となり、周辺の家屋や田畑等に大量の浸水とともに土砂が流れ込み、大きな被害の爪痕を残した。さらに、浸水が長時間続いたために、沖端川堤防からの浸水は西北方向へ拡大し、西は西鉄柳川駅周辺まで達した。また、矢部川堤防からの浸水は南西方向へ広がり、一部は国道 208 号を越えて中島地区を浸水した。

これにより、市域の約 3 分の 1 が冠水し、中山地区、六合地区を中心に住家の床上浸水が 380 戸、床下浸水 953 戸など大きな被害を及ぼした。また、農地・農産物の被害、漁船・漁港施設等の被害、有明海の流木・ガレキ被害、企業・商店等被害など農漁業、商工業等の産業も甚大な被害を受けた。



7 月 14 日、午前 9 時ごろ、沖端川左岸中山の立花いこいの森の堤防が越水後、決壊



7 月 14 日、午後 1 時 20 分ごろ、矢部川右岸六合の津留橋上流の堤防が決壊

2) 降雨状況

7 月 13 日から 14 日にかけて、九州北部に強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量となった。13 日は、筑後地方では朝から昼過ぎにかけて、非常に激しい雨となった。その後、雨は一旦弱まったが、夜遅くに再び激しい雨となった。

14 日は、未明から昼前に筑後地方では猛烈な雨となった。特に、1 時間解析雨量で午前 6 時 30 分に八女市及びうきは市付近と、9 時 30 分に八女市及び筑後市付近で、それぞれ約 110 ミリの記録的短時間大雨となった。矢部川流域にも記録的な豪雨をもたらした。八女市黒木町では、観測史上最大の雨量を記録し、午前 5 時から 11 時の 6 時間降水量で 301 ミリ、最大 24 時間降水量では 486 ミリという平年 7 月の月降水量に比べて約 1.3 倍という壮絶な豪雨となった。

柳川市の降雨状況は、14 日 6 時 48 分に最大 1 時間降水量 81.5 ミリという 7 月の観測史上最大を記録したほか、次のような降水量を記録した。

■気象庁アメダス降水量記録（柳川市）

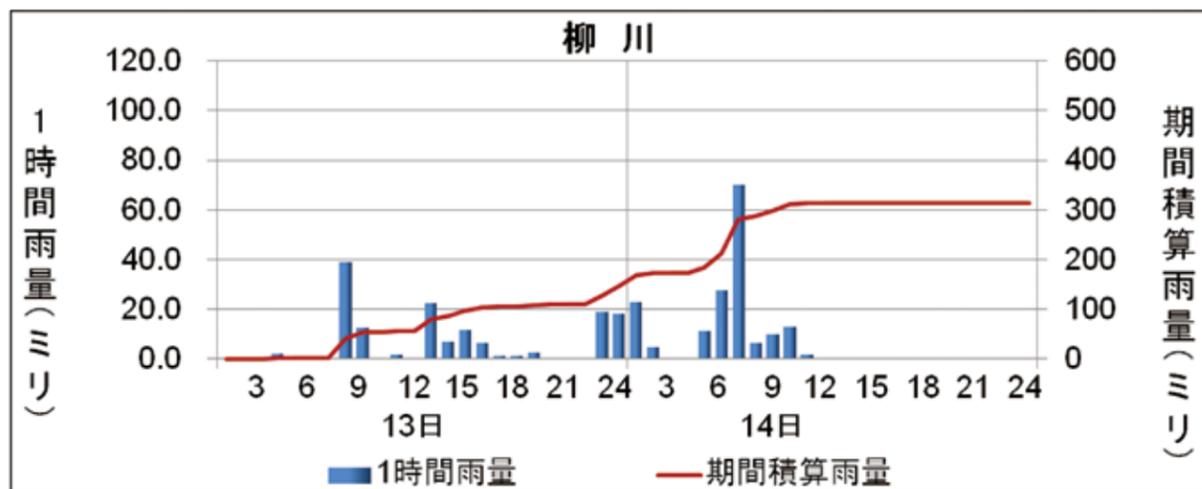
期間降水量（11日～14日）	415.0 mm	11日（70.5 mm）、12日（31.0 mm）、13日（146.0 mm）、14日（167.5 mm）
最大日降水量	167.5 mm	14日
最大1時間降水量	81.5 mm	14日、5：48～6：48（7月の観測史上初）
最大3時間雨量	111.1 mm	14日、4：20～7：20
最大24時間雨量	281.0 mm	13日、7：10～14日、7：10
最大72時間雨量	414.5 mm	11日、11：00～14日、11：00

■気象庁アメダス降水量記録（柳川市、7月13日～14日）

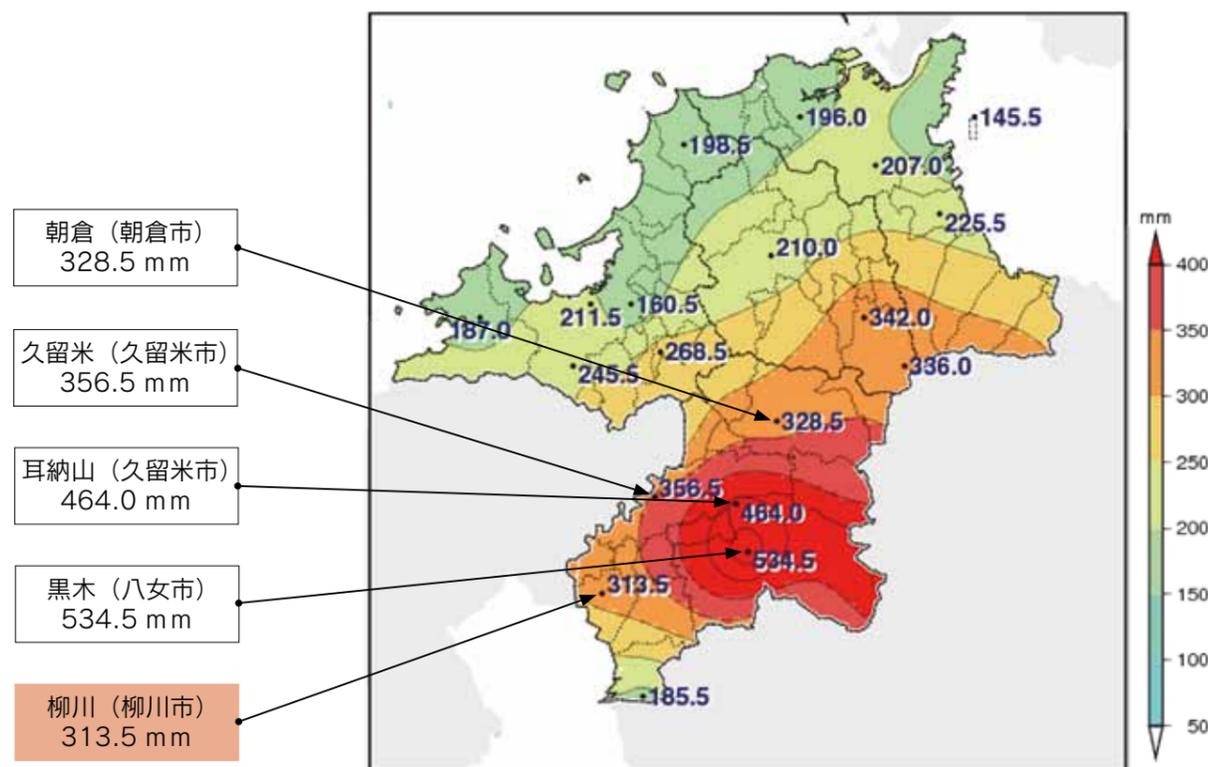
単位：mm

月日	7月13日（金）										
	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
1時間	39.0	12.5	0.5	1.5	0.5	22.5	7.0	11.5	6.5	1.0	1.0
累加	41.5	54.0	54.5	56.0	56.5	79.0	86.0	97.5	104.0	105.0	106.0
月日	7月13日（金）						7月14日（土）				
	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時
1時間	2.5	0.5	0.0	0.0	19.0	18.0	23.0	4.5	0.0	0.0	0.0
累加	108.5	109.0	109.0	109.0	128.0	146.0	169.0	173.5	173.5	173.5	173.5
月日	7月14日（土）										
	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
1時間	27.5	70.0	6.5	10.0	13.0	1.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
累加	212.0	282.0	288.5	298.5	311.5	313.0	313.0	313.5	313.5	313.5	313.5

■気象庁アメダス降水量の時系列グラフ（柳川市、7月13日～14日）



■気象庁アメダス総降水量の分布図（7月13日～14日）



3) 河川の水位状況

九州北部では、13日から14日にかけて九州西海上から「湿舌」と呼ばれる暖かく湿った空気が流れ込み、急激に発達した雨雲が断続的に豪雨をもたらした。これにより、筑後川水系、矢部川水系などで氾濫が起き、各地で観測史上最高の水位を記録した。

特に、矢部川では、船小屋水位観測所（筑後市）において、14日午前9時に観測史上最高水位の9.76 m（既往最高水位 7.74 m）を記録した。

同時に、同観測所では過去最大の毎秒約4千tの流量を記録しており、これは昭和28年大水害のときの毎秒約3.5千tを上回るものであった。

さらに、長時間にわたり高い水位と激しい濁流が続き、堤防決壊をまねくとともに、家屋や田畑等の浸水被害を拡大していった。

■矢部川観測水位（国観測所筑後市船小屋、7月14日）

単位：m

時刻	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
水位	4.40	4.99	5.79	—	6.42	6.81	7.51	9.16	9.56	9.33	9.48	9.31
基準	—	水防団待機水位			はん濫注意水位			はん濫危険水位				
時刻	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
水位	8.27	7.38	6.72	6.37	6.03	5.79	5.49	5.24	5.03	4.74	4.81	4.65
基準	避難判断		はん濫注意水位				水防団待機水位					

■沖端川観測水位（県観測所柳川市三橋町新村橋、7月14日）

単位：m

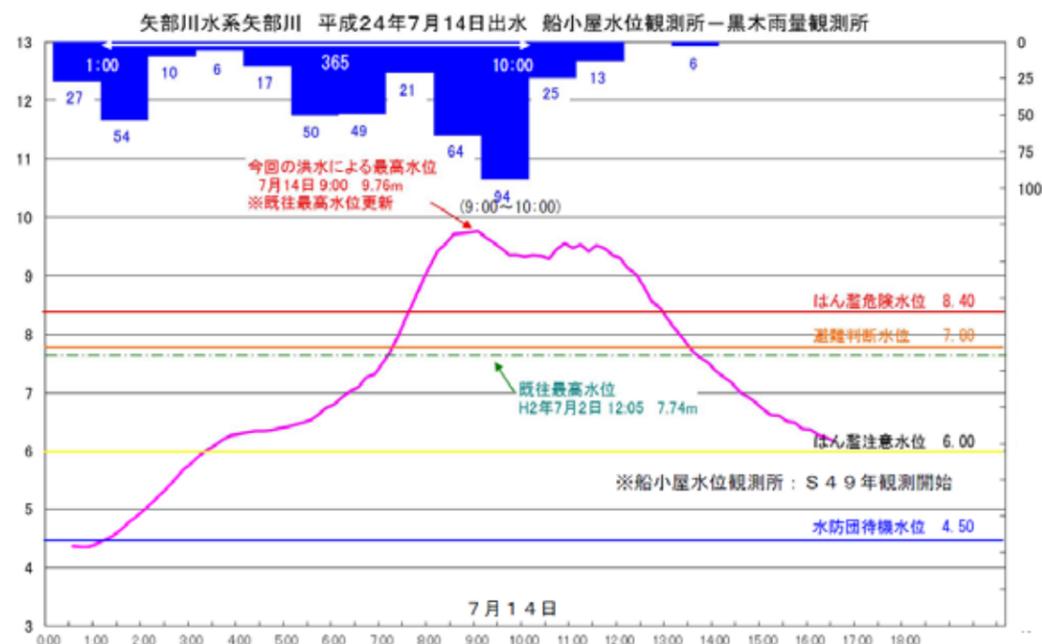
時刻	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
水位	2.74	2.87	3.27	3.80	4.19	4.54	5.06	5.88	6.29	6.02	5.96	5.92
基準	—		水防団待機水位		避難判断水位		はん濫危険水位					
時刻	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
水位	5.82	5.59	5.36	5.13	4.93	4.72	4.44	4.11	3.76	3.32	3.08	2.87
基準	はん濫危険水位						避難判断水位		水防団待機水位		—	

■花宗川観測水位（県観測所筑後市下北島、7月14日）

単位：m

時刻	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
水位	1.74	2.31	2.29	1.91	1.56	1.98	2.58	2.72	2.87	2.90	2.86	2.82
基準	水防団		はん濫注意水位			—		はん濫注意水位		はん濫危険水位		
時刻	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
水位												
基準	はん濫注意水位			水防団		—						

■矢部川水位の時系列グラフ（船小屋水位観測所、雨量は黒木観測所、7月14日）



沖端川から中山地区に流れ込む濁流



矢部川堤防が決壊、崩落（向こうは六合地区）

4) 日向神ダムの状況

日向神ダムでは、13日はピークで14時40分に290.19 tの流入量に対し、15時8分に259.91 tの放流量であったが、流入が一旦収まり、16時12分からは上昇した貯水位を低下させて次の洪水に備える調整に入った。

しかし、14日4時前から急上昇で400 tを超える流入となり、4時には毎秒650.69 tの流入量となった。さらに、8時10分には最大の毎秒1004.57 tを記録した。

対する放流量については、14日4時7分から夕方の16時10分まで、ほぼ12時間連続で規定されている上限の毎秒350 t近くの放流を続けることを余儀なくされた。

■矢部川水位の時系列グラフ（船小屋水位観測所、雨量は黒木観測所、7月14日）

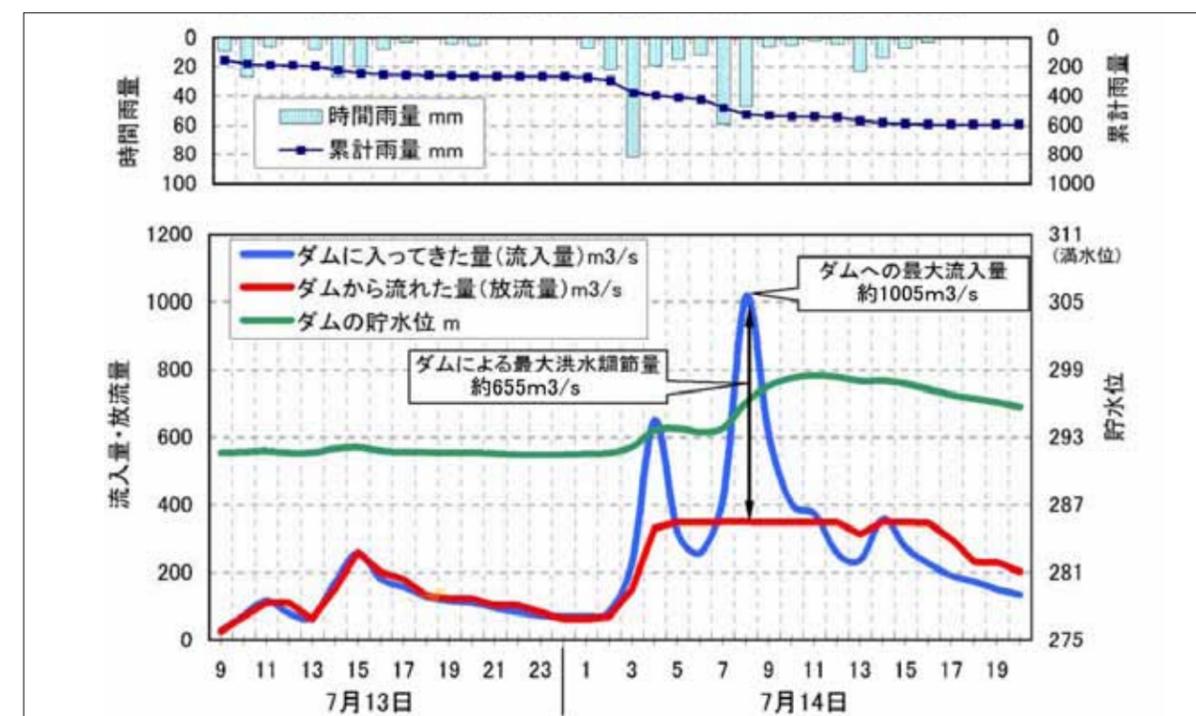
<流入量>

流量	月日	時間	水量
流入ピーク	7月14日	4時00分	毎秒 650.59 t
		8時10分	毎秒 1004.57 t
		14時3分	毎秒 359.79 t

<放流量>

流量	月日	時間帯	水量
上限連続放流 (350t/s)	7月14日	4時7分～12時45分 (8時間38分)	毎秒 350 t
		13時56分～16時10分 (2時間14分)	毎秒 350 t

■日向神ダム流入量・放水量の時系列グラフ（県日向神ダム管理出張所、7月14日）



5) 気象警報等

柳川市に対する気象警報等は、7月11日15時56分に大雨・洪水注意報を発表後、同日23時45分に大雨・洪水警報が発表され、翌12日10時56分に一旦解除された。

しかし、13日午前8時30分に、再度、大雨・洪水警報が発表され、翌14日まで続いた。そして、16時55分に大雨警報が注意報に切り替わり、洪水警報は15日17時20分に解除された。すべての警報が解除されるまでに57時間が経過した。

また、指定河川洪水予報については、矢部川に対して14日13時25分に、はん濫警戒情報が発表された後、同日13時45分には矢部川の堤防決壊により、はん濫発生情報が発表された。

矢部川の洪水予報の解除は、翌15日17時までかかった。

■大雨・洪水警報注意報の発令状況（気象庁、7月13日～15日）

市名	発表日時		種類
柳川市	7月13日	5時15分	大雨・洪水注意報
		8時30分	大雨・洪水警報
	7月14日	16時55分	大雨注意報・洪水警報
		21時45分	大雨注意報解除
	7月15日	17時20分	洪水警報解除

■指定河川洪水予報の発表状況（気象庁・国土交通省、7月14日～15日）

河川名	発表日時		号数	種類
矢部川	7月14日	3時30分	第1号	はん濫注意情報
		7時35分	第2号	はん濫警戒情報
		7時55分	第3号	はん濫危険情報
		13時25分	第4号	はん濫警戒情報
		13時45分	第5号	はん濫発生情報
	7月15日	17時00分	第6号	はん濫注意情報解除
筑後川下流部	7月14日	8時05分	第1号	はん濫注意情報
		23時25分	第2号	はん濫注意情報解除



沖端川堤防の決壊により水没した立花いこいの森の駐車場



矢部川堤防（正面奥）の決壊により浸水が拡大